

【歴史総合】

<学習内容について>

後期のみの開講です。

現在は「グローバル化」の時代と言われます。どのようにしてこうした状況が生まれてきたのか、世界と、その中で日本とが歴史（過去）を通してどのようにつながってきたのか、そうしたことを歴史総合で学びます。また、現代の環境問題、地域紛争、難民・移民問題などの課題をどのように解決していけばいいかというヒントを、歴史を手掛かりとして考えていく科目です。

<教材について>

教科書：「高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来」（第一学習社）

<レポートについて>

レポートの回数は半期で6回です。（前期は開講していません。）

教科書の内容は、レポートでは以下の通り配分されます。

[後期]

第1回：巻頭特集

第1部 歴史の扉

第2部 近現代の世界と日本

第1章 近代化と私たち

第1節 18世紀のアジアの繁栄

第2回：第2節 工業化の進展と国民国家の建設

第3節 結び付く世界と日本の開国

（「4 清と日本は外圧に対応した」まで）

第3回：第3節 結び付く世界と日本の開国

（「5 日本の国境・領土が定まった」から）

第4節 帝国主義とアジア諸国の変容

第4回：第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち

第1節 第一次世界大戦と大衆社会

第5回：時代の扉4 第二次世界大戦と国際秩序の形成

第2節 経済危機と第二次世界大戦

第3節 第二次世界大戦後の世界と日本

第6回：第3章 グローバル化と私たち

第1節 冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭

第2節 世界秩序の変容と日本

<学習の進め方について>

教科書の本文を中心に、注釈・地図・表・グラフ・写真などの細かいところまでよく見ながら、レポートに取り組んでください。どうしても分からないことは積極的に質問しましょう。

<スクーリングについて>

後期に2時間分のスクーリングに出席することが必要です。スクーリングでは、レポートの内容を中心に授業が行われます。スクーリングの際には、教科書や筆記用具を準備しておきましょう。忘れた場合は出席が認められません。気を付けてください。

<評価について>

評価は、試験成績と平常点（レポートの成績、実技成績、学習態度等）を以下の観点をもとに総合して100点法で行い、30点以上を合格とする。

[知識・技能]

現代世界の特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。

[思考・判断・表現]

歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。

[主体的に学習に取り組む態度]

歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に解決しようとしている。